

平成25年度 網走南部署斜里地区  
鳥獣被害対策エゾシカ捕獲事業  
第1号その2

# 報告書



平成27年3月  
北海道森林管理局



## 目次

1. はじめに	1
2. 事業実施場所および工程	1
3. 囲いワナの構造および捕獲方法	3
4. 事業実施結果	11
5. 考察	14
6. 付録：現場作業の実施状況・記録写真	18



## 1. はじめに

知床半島にはエゾシカが高密度で生息しており、世界自然遺産登録後はエゾシカの採食圧による環境への悪影響を緩和すべく、知床世界自然遺産地域科学委員会のエゾシカ・陸上生態系ワーキンググループにおける議論を受けて、各行政機関が個体数調整事業を半島内各地で実施している。

本事業は、知床半島における高密度のエゾシカ生息による森林被害等の採食圧の低減を図り、原始的な生態系を維持または回復させるため、囲いワナによるエゾシカ生体捕獲を実施し、個体数の調整を図るとともに、捕獲の効果や当該地域におけるエゾシカの生息状況等を把握することにより、次年度以降の捕獲計画等に資することを目的として実施した。なお、同所での捕獲は2年目となる。

## 2. 事業実施場所および工程

本事業で捕獲施設として使用した囲いワナは、知床半島の西側に位置する北海道斜里郡斜里町ウトロ東番外地(網走南部森林管理署1377林班ほ小班外;国設知床野営場の隣接地、標高約60m地点)に、平成25年度に北海道森林管理局によって設置された(図1)。さらに平成26年度稼働前に改良を加えた(改良箇所に関しては3-1. 囲いワナの構造に記載)。設置場所は国指定鳥獣保護区内で、山側保護区外もエゾシカ捕獲禁止区域に指定されており、一般ハンターによる狩猟は周辺では行われていない。また国立公園区域から約1.3km離れているため、国立公園内で展開されている環境省のエゾシカ捕獲事業の対象地域からも外れていたエリアである。

事業工程を表1にまとめた。

囲いワナの改良工事は、契約締結後の平成27年(2015年)2月5日に着工し、同月9日に完成した。ワナ周辺での餌付け誘引は先行して1月9日に開始した。改良工事終了3日後の2月12日には自動捕獲装置の設置を完了し、捕獲待機体制に入った。待機体制は3月18日をもって解除、捕獲を終了した。

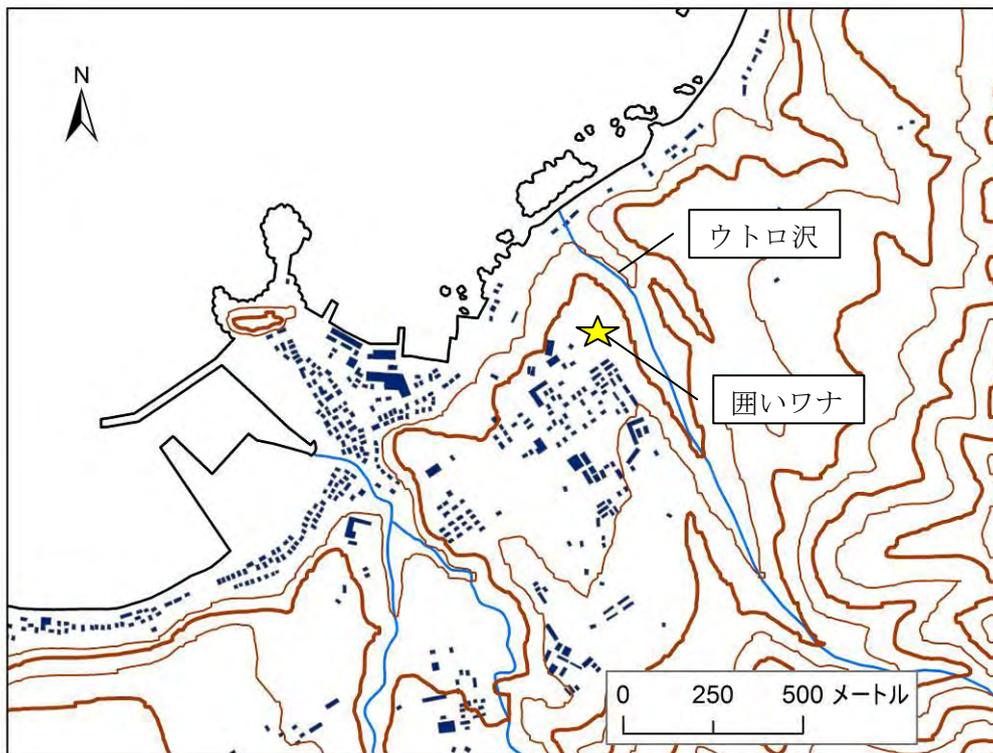


図1. 本事業における囲いワナの設置地点（星印）.

表1. 本事業の実施工程.

項目	12月		1月			2月			3月	
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
囲いワナ作設						→				
餌付け誘引			→							
ワナ周辺のシカ生息状況等把握			→							
ワナ内外・搬出路の除雪						→				
生体捕獲・運搬								→		
広範囲生息調査及びワナや自動捕獲装置のメンテナンス			→							
報告書作成									→	

### 3. 囲いワナの構造および捕獲方法

#### 3-1. 囲いワナの構造

本事業に使用した囲いワナは、昨年度設置使用したワナ（周囲長 56.4 m、面積 104.1 m<sup>2</sup>）に改良を加えた上で使用した。具体的にはシカがワナ内に入る際の警戒心を緩和するため、今年度新たに囲い部を 22m 拡張し、奥行きをもたせた。（写真 1, 図 2）。

増設部は使用書の設計（図 3, 4）を基本として作設したが、異常な暴風雪により今後倒壊の恐れがあること、また、現在の形状ではエゾシカの生体での捕獲に支障を来す恐れがあることが判明したため、現場協議により補強改良された状態でエゾシカの捕獲を行った（写真 2, 3）。囲いワナの補強改良に使用した部材を含めた部材の集計表を表 3 に示した。

落とし扉は斜里町内の鉄工所で作成した鋼製扉で、扉の制御は兵庫県立森林動物研究センターが開発した自動捕獲装置（商品名：AI ゲートかぞえもん、販売元：株式会社一成、兵庫県、写真 4, 5, 6, 7）の使用を前提としたため、同装置で制御可能な構造および重量（10 kg 未満）とした（写真 8）。



写真 1. 囲いワナ増設作業写真（囲い部改良）。

平面図

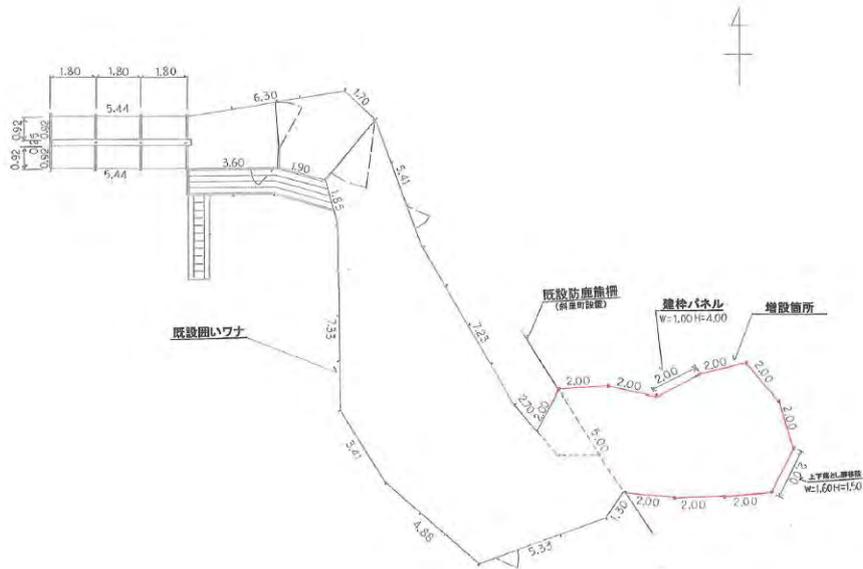


図 2-1. 本事業で設置した囲いワナの平面図 (赤線が増設部).

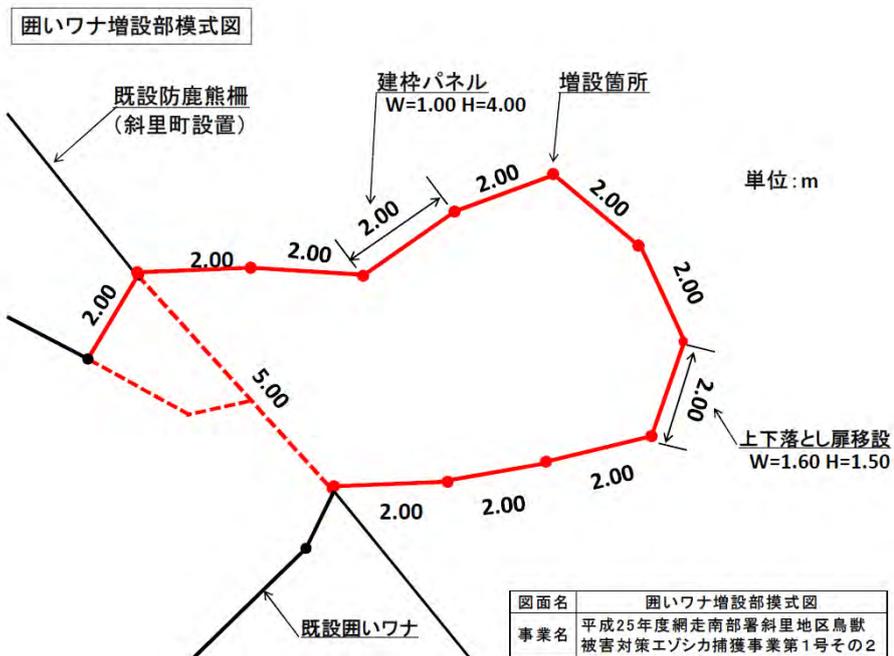


図 2-2. 本事業で設置した囲いワナ増設部模式図.

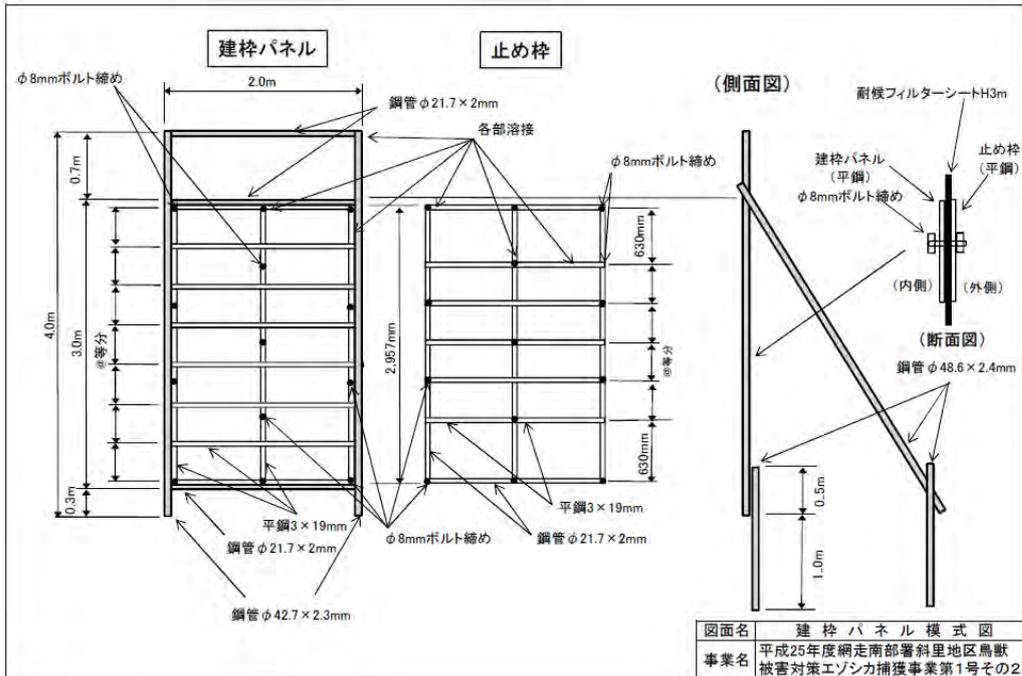


図 3. 本事業の囲いワナで使用した建枠パネル模式図.

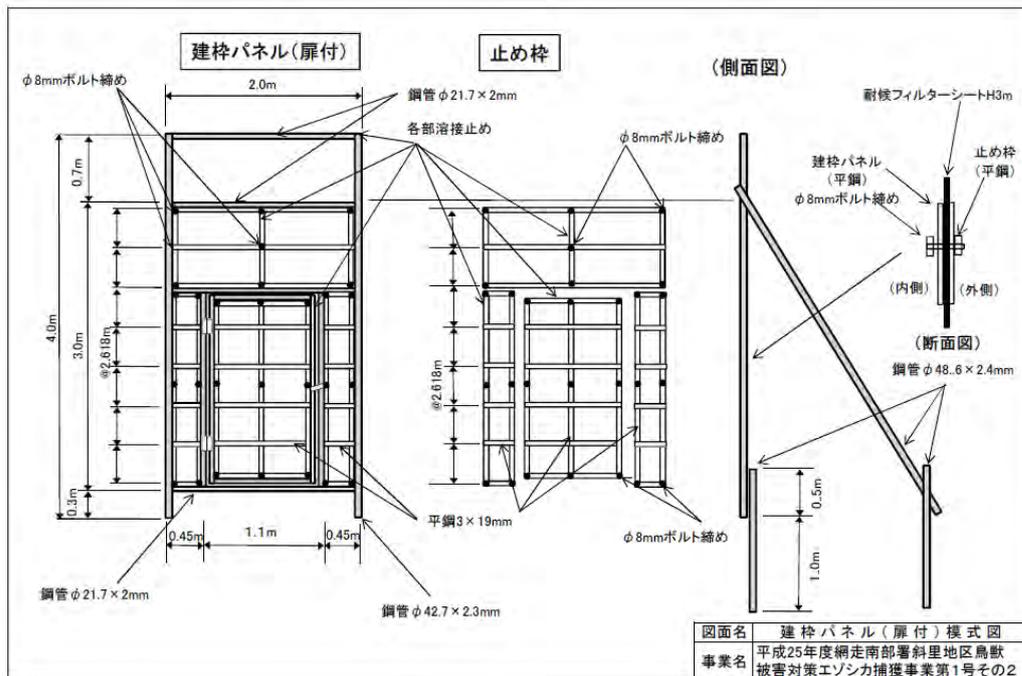


図 4. 本事業の囲いワナで使用した建枠パネル (扉付) 模式図.



写真 2. 拡張部作設中（内側観）.



写真 3. 完成後（内側観）.

表 3. 拡張部作設に使用した部材一覧表

番号	名 称	規格・寸法	単位	(C)
				使用数量
1	型枠パネル	W2.00*H4.00*φ 42.7	枚	9.00
2	型枠パネル(扉付)	W2.00*H4.00*φ 42.7	枚	1.00
3	耐候フィルターシート	W2.00*L50.00	m <sup>2</sup>	100.00
4	単管パイプ	φ 48.6*L4.00	本	40.00
5	単管パイプ	φ 48.6*L1.50	本	40.00
6	自在クランプ	φ 48.6用	個	100.00
7	自動捕獲装置(支給品)	AIゲートかぞえもん	式	1.00
8	型枠用合板	W0.90*H1.80*T0.012	枚	28.00
9	ブルーシート	#3000	枚	1.00
10	サンギ	L=3.65m	本	50.00
11	ドーブチ	L=3.65m	本	30.00

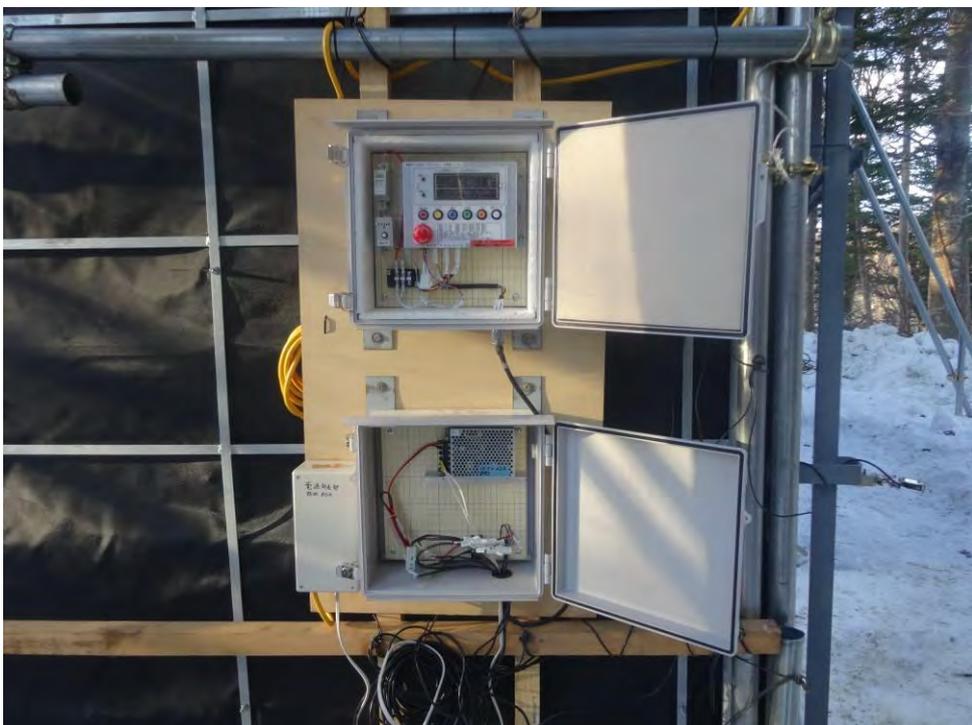


写真 4. 自動捕獲装置（AI ゲートかぞえもん）の本体部分.



写真 5. 自動捕獲装置のセンサー部分（手前がワナ内部）.



写真 6. 自動捕獲装置のセンサー部分 (左手ワナ内、右手ワナ外).



写真 7. 自動捕獲装置のトリガー部分.



写真 8. エゾシカ捕獲用の鋼製落とし扉の外観（扉開放時）.

### 3-2. 誘引および捕獲の方法

ワナ周辺およびワナ内部へのエゾシカの誘引は、乾草ブロック（ルーサンハイベール：マメ科牧草のアルファルファ乾草を約 25kg 単位でブロックにしたもの）を用いて 1 月 9 日から 3 月 18 日までの 69 日間行った。

1 月 9 日から囲い部の拡張が完成した 2 月 9 日までの 32 日間はワナ外側の海側 10m の位置に誘引餌をおいた（1 月 9, 12, 17, 21, 25, 28, 31 日、2 月 6, 8 日の計 9 日）。ワナ完成後 3 月 18 日までの 37 日間はワナ内と落とし扉付近にほぐした乾草を散布し、ワナ内へエゾシカを誘導した（2 月 10, 12, 13, 14, 17, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 28 日、3 月 2, 4, 5, 6, 9, 11, 14, 15, 16, 17 日の計 23 日）。ワナの巡回やメンテナンス時に誘引餌の残存状況を確認し、常に餌を絶やさないう注意深く管理した。またワナ内への進入馴化のために 2 月 17 日から 2 月 21 日まで 5 日間はゲート横の人用扉を開放固定し、複数の出入口からシカが自由にワナ内に入り出して採餌可能な状態にした。

その他、囲いワナ周辺部からの誘引のため、ワナから 200 m 以上離れたウトロ沢河口部付近の採餌場所に集まったエゾシカをワナまで誘導するため、天然の採餌場所から誘引餌を少量ずつ散布する作業を、生息状況確認用自動撮影カメラのメンテナンス時に行った（図 5）。

なお、本事業の実施期間中にエゾシカの誘引のために使用した餌の総量は、乾草ブロック 19 個（計約 475 kg）であった。

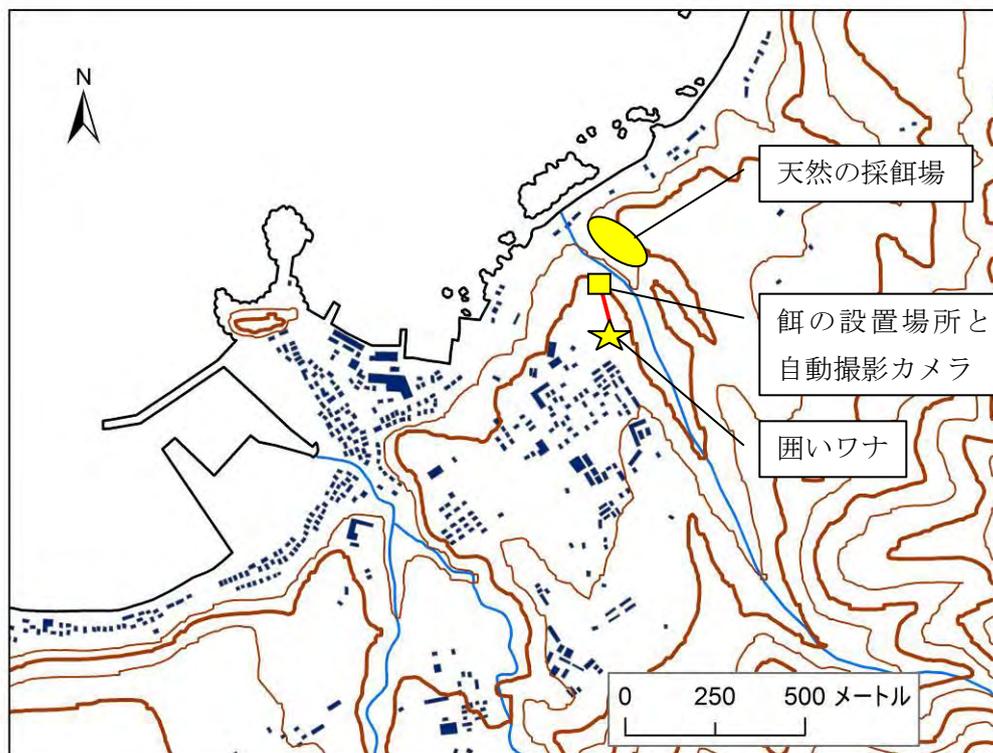


図 5. 天然の採餌場（円）. 生息確認用の自動撮影カメラと餌まき誘引の実施地点（四角）. 囲いワナ（星）. 赤線が餌を少量ずつまいたライン.

ワナ内へ誘引したエゾシカの捕獲（落とし扉の落下による囲い込み部への閉じ込め）には、前述の自動捕獲装置を使用した。捕獲見込頭数（自動捕獲装置に設定した希望捕獲数）の設定は原則 7～10 頭と高めに設定したが、誘引されているエゾシカの群れサイズ、雌雄構成、警戒心等を考慮し、監督職員との協議の上、適宜調整した（表 4）。

なお、ワナ周辺へのエゾシカの出現時刻および出現頭数を 24 時間把握するため、静止画撮影用の自動撮影カメラ 3 台（機種名：TROPHY CAM, Bushnell, USA）を、ワナ内部の落とし扉周辺を見渡せる位置と落とし扉から外側のワナ前周辺を見渡せる位置、ワナ周辺のエゾシカの生息状況等を把握する為の位置に設置した。

表 4. 本事業における自動捕獲装置の捕獲見込頭数の設定状況（手入力設定）.

期間		捕獲見込頭数	
自	至	最小	最大
2月12日	2月17日	15	20
2月17日	2月21日	-	-
2月21日	3月9日	7	10
3月9日	3月18日	3	5

※ゲート横の人用扉を開放固定し、複数の出入口からシカが自由にワナ内に入り出して採餌可能にしたために2月17日～2月21日は自動捕獲装置を停止していた。

#### 4. 事業実施結果

本事業期間中、30日間のワナ稼働日数中に自動捕獲装置によって計17頭を捕獲した（表5）。内訳はメス成獣7頭、子9頭、オス成獣1頭であった。捕獲したエゾシカは、暗箱部へ追い込んだ後に仕様書に定められた一時養鹿業者（株式会社エゾシカファーム）へ引き渡し搬出した（写真9）。

12月24日、1月7日、31日、2月9日、19日、3月10日、18日の7日間はエゾシカの捕獲搬出はできなかったが、本事業中における捕獲、搬出作業の正確性・安全性を保つため、広範囲生息調査及び自動捕獲装置やワナのメンテナンスを行った。メンテナンスにおいて、自動捕獲装置の誤作動、ワナの異常箇所は認められなかった（表6）。

落とし扉の自動閉鎖1回あたりの捕獲頭数は3～9頭、平均5.7頭であった（表5、写真10）。自動捕獲の成功間隔は3～13日であった。

ウトロ沢右岸のエゾシカを撮影した生息状況確認用の自動撮影カメラによる月別最大確認頭数は、1月は28日の18頭、2月は18日の18頭、3月は6日の22頭であった。また、1～3月のウトロ沢全体におけるエゾシカの最大目視頭数は、3月17日に確認された42頭であった。

なお、短期間の大量降雪に対応するため、家庭用除雪機を使用しての集中的除雪作業を、計2回実施した（2月16日、3月6日）。扉の可動範囲や暗箱周辺の除雪作業は、人力で適宜日常的に実施した。

表 5. 平成 26 年度知床ウトロ地区囲いワナ（キャンプ場）によるエゾシカの捕獲成績.

捕獲日	捕獲時刻	捕獲個体内訳						計	搬出日	備考
		メス成獣	0歳	オス						
				4尖	3尖	2尖	1尖			
2月22日	22:53	4	4	1			9	2月23日	7-10頭設定	
3月9日	22:03	1	4				5	3月9日	7-10頭設定	
3月11日	15:57	2	1				3	3月13日	3-5頭設定	
計		7	9	1	0	0	17			

※本報告書においては、落とし扉の閉鎖によってエゾシカが囲いワナ内部から脱出できない状況になった時点を「捕獲」と定義し、捕獲したエゾシカを有効活用業者が用意した輸送用暗箱に移すことを「搬出」と定義する。



写真 9. 搬出作業.

表 6. 各作業日と作業人数

日付	生息状況調査	誘引除雪	捕獲搬出	広範囲生息調査及びワナや自動捕獲装置のメンテナンス	その他	作業人数
12月 24日				●		3
1月	7日			●		3
	9日	●	●			2
	12日	●	●			2
	17日	●	●			2
	21日	●	●			4
	25日	●	●			2
	28日	●	●			4
	31日				●	3
	2月	5日				●
6日		●	●			5
8日		●	●			3
9日				●		3
10日		●	●			3
11日					●	3(AM) 2(PM)
11日						
12日		●	●			4
13日			●			2
14日		●	●			2
16日		●	●			6
17日		●	●			2
19日					●	3
20日		●	●			2
21日		●	●			2
22日		●	●			2
23日				●		3(AM) 2(PM)
23日		●	●			2(PM)
24日		●	●			2
25日		●	●			2
26日		●			3	
28日	●	●			4	
3月	2日		●			4(AM)
	2日	●				1(PM)
	4日	●	●			3
	5日	●	●			4
	6日		●			2(AM)
	6日					1(PM)
	9日		●			4(AM)
	9日			●		2(PM)
	10日				●	3
	11日	●	●			6
	13日			●		2
	14日	●	●			3
	15日	●	●			4
	16日		●			4
17日	●	●			3	
18日				●	3	
19日					●	3
計	27	32	3	7	3	-

\*その他：2月5日現地立会打ち合わせ

2月11日自動捕獲装置取り付け作業

3月19日囲いワナ撤収作業



写真 10. 本事業の囲いワナで捕獲された 9 頭のエゾシカ（2 月 23 日の追い込み作業時に撮影）。

## 5. 考察

本事業では計 17 頭のエゾシカの捕獲・搬出に成功した。昨年度と同囲いワナの捕獲頭数は 35 頭であった（表 7）。両年の結果と対比すると、1 日当たりの捕獲頭数は昨年度が約 0.61 頭、今年度が 0.57 頭と減少した。一般的に実施 2 年目の囲いワナの捕獲頭数は減少する傾向にあるが、低調とはいえ 1 日当たりの捕獲頭数は大幅に下がらなかった。これは本年度の囲い罟の拡張工事が効果的だったと考えられるが、本事業ではそれを明確にすることができなかった。

本事業の囲いワナ周辺に生息するエゾシカは、昨年引き続き警戒心の高い集団で構成されており、ワナ前まで誘引されてもワナ内部まで進入することを極端に忌避する状況が多く確認された（写真 11, 12：同日同時刻のワナ前とワナ内の様子，写真 13）。そのため現位置の囲いワナでは、ワナ前まで誘引したエゾシカの群れの大半がワナ内に進入するようになるまで時間をかけて十分馴化させてから捕獲を開始する捕獲方法が効果的であると推測される。具体的には、捕獲見込頭数を低く設定すると頻繁に扉が落下してエゾシカが

自動捕獲装置の仕組みを学習してしまうため、捕獲見込頭数は高めに設定し、捕獲頻度を減らして馴化させる方法が考えられる。実際に本事業の期間中においても、ワナ内に進入する個体が数頭出現するようになると、しばらくして別個体が後ろから追隨する姿が自動撮影カメラで確認されている。

エゾシカは囲いワナ周辺の自動撮影カメラや巡視時の目視による生息状況確認で1～3月の事業期間中一定数確認されていたが（4. 事業実施結果記述）、度重なる暴風雪の影響でワナの完成が昨年度より大幅に遅れた為に捕獲が2月から開始となってしまった。来年度も現位置で囲いわなを稼働させる場合、越冬期前半、具体的には1月の稼働日数を多くすることで捕獲総数を増加させることができると推測される。

表 7. 年度別捕獲頭数及びワナ稼働日1日当たりの捕獲頭数.

年度	捕獲頭数	ワナ稼働日数	1日当たりの捕獲頭数
平成25	35	56	0.63
平成26	17	30	0.57

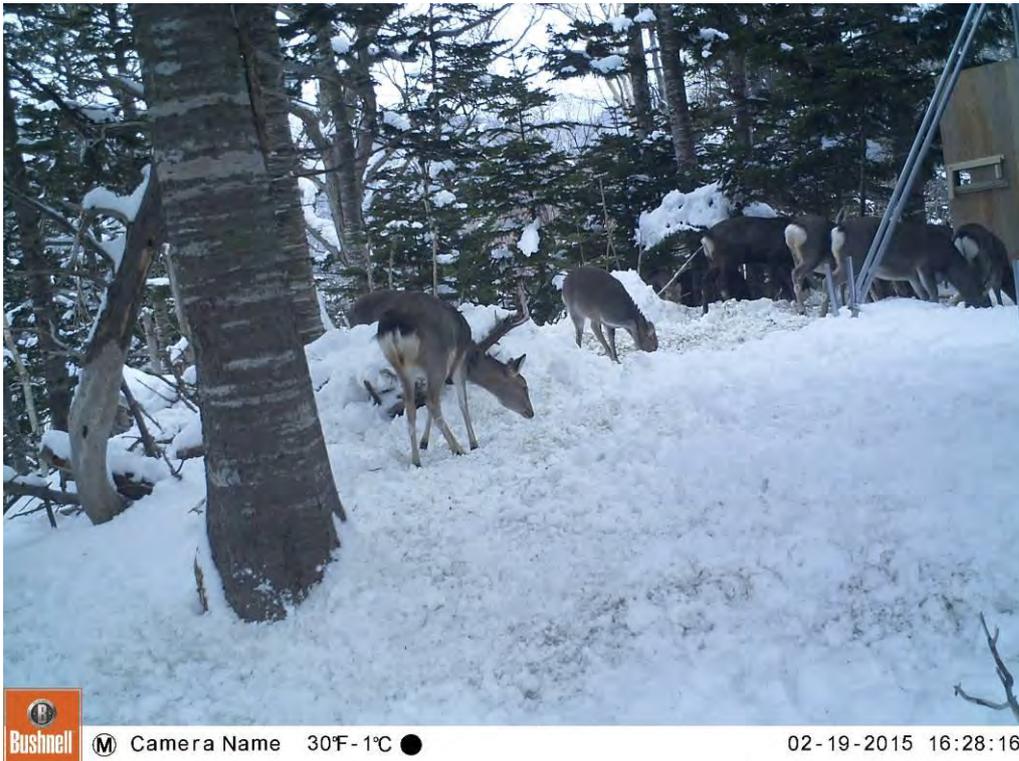


写真 11. 自動撮影カメラの写真：2月19日16時28分のワナ前（12頭）.



写真 12. 自動撮影カメラの写真：2月19日16時28分のワナ内（2頭）.



写真 13. 自動撮影カメラの写真：2月23日18時25分のワナ前（ワナ前9頭、ワナ内0頭）.

付録：現場作業の実施状況・記録写真（ウトロ東国有林）

<p>平成 26 (2014) 年 12月 24日 (水) 10:00-11:30 計 3名</p>	 <ul style="list-style-type: none"><li>・広範囲生息調査及びワナのメンテナンスを実施</li><li>・目視は♀3頭のみ。シカはミズナラの堅果に依存している状況であった。写真は、シカが堅果を掘り荒らしたミズナラ林の状況</li></ul>
--	--

<p>平成 27 (2015) 年 1月 7日 (水) 11:12-11:45 計 3名</p>	 <ul style="list-style-type: none"><li>・広範囲生息調査を実施</li><li>・昨夜が暴風だったため、現場確認を実施</li><li>・囲い部の仕切り扉が破損を確認</li></ul>
--	--

平成 27 (2015)  
年

1月9日(金)

9:20-10:20

計2名



- ・自動撮影カメラ1台を設置
- ・ワナ前周辺に餌を補充

平成 27 (2015)  
年

1月12日(月)

11:15-12:00

計2名



- ・ワナ前周辺に餌を補充
- ・自動撮影カメラの状態を確認

平成 27 (2015)  
年

1月 17日 (土)

10:30-10:50

計 2名



- 自動撮影カメラ前に餌を補充
- 自動撮影カメラのSDカードの交換

平成 27 (2015)  
年

1月 21日 (水)

10:30-11:30

計 4名



- 生息状況確認用の自動撮影カメラの設置
- ワナ前周辺に餌を補充

平成 27 (2015)  
年

1月 25 日 (日)

13:30-14:40

計 2 名



- ・ワナ前付近に餌を補充
- ・ワナ前から生息状況観測用自動撮影カメラまでのシカ道沿いに餌を補充
- ・生息状況確認にて対岸斜面にて 20+頭 (性別、年齢構成等) を確認

平成 27 (2015)  
年

1月 28 日 (水)

9:50-10:30

計 4 名



- ・ワナ前・生息状況確認用自動撮影カメラの前に餌を補充
- ・ワナ前・生息状況確認用自動撮影カメラのSDカード交換

平成 27 (2015)  
年

1月31日(土)

9:00-9:35

計3名



- ・広範囲生息調査を実施
- ・ワナ前・生息状況確認用自動撮影カメラのSDカード交換
- ・嵐に向けて戸締り等の確認

平成 27 (2015)  
年

2月5日(木)

9:20-9:50

計1名



- ・ワナ改修工事内容の現地立会打ち合わせ

平成 27 (2015)  
年

2月6日(金)

9:15-9:55

計 5 名



- ・ワナの工事状況確認
- ・ワナ前に餌を補充
- ・ワナ前・生息確認用自動撮影カメラのSDカード交換

平成 27 (2015)  
年

2月8日(日)

9:50-10:35

計 3 名



- ・ワナ改修工事の進捗確認
- ・ワナ前・シカ道沿い・生息確認用自動撮影カメラ前に少量を散布
- ・ワナ前自動撮影カメラ、生息確認用自動撮影カメラのSDカードを交換

平成 27 (2015)  
年

2月9日 (月)

15:50-16:45

計 3 名



- ・ 広範囲生息調査を実施
- ・ 電源BOXの位置について斜里建設と確認。
- ・ ワナ内の改良点の指示。(1/7に破損が認められた仕切り扉の撤去)

平成 27 (2015)  
年

2月10日 (火)

14:30-15:30

計 3 名



- ・ ワナ内・前に餌を補充
- ・ ワナ内に自動撮影カメラを設置
- ・ ワナ前自動撮影カメラのカメラをゲート前に移設
- ・ エゾシカが海側からワナ方向に移動しているのを目視

平成 27 (2015)  
年

2月11日(水)

11:00-12:30

計3名



・自動捕獲装置本体等の取り付け作業

平成 27 (2015)  
年

2月 11日 (水)

13:30-15:00

計 2名



・自動捕獲装置本体等の取り付け作業

平成 27 (2015)  
年

2月12日(木)

9:05-10:10

計4名



- ・自動捕獲装置稼働（誘引のため15-20頭の進入で捕獲する設定）
- ・ワナ内・前に餌を補充
- ・ワナ稼働再検査

平成 27 (2015)  
年

2月13日(金)

9:00-9:50

計2名



- ・ワナ前に餌を補充

平成 27 (2015)  
年

2月14日(土)

13:00-14:30

計2名



- ・ワナ内・前に餌を補充
- ・自動撮影カメラ3機のSDカードの交換
- ・ワナ前の自動撮影カメラの電池を交換

平成 27 (2015)  
年

2月 16日 (月)

14:00-15:30

計 6名



・ 除雪機も使用してワナ内の除雪実施実施（各扉付近は人力で除雪）

平成 27 (2015)  
年

2月 17日 (火)

13:10-14:10

計 2名



- ・ワナ内・前に餌を補充
- ・ゲート横人用扉を開放固定、自動捕獲装置を停止（シカをワナ内進入に慣れさせるため）

平成 27 (2015)  
年

2月 19日 (木)

10:35-11:20

計 3名



- ・広範囲生息調査及び自動捕獲装置やワナのメンテナンスを実施
- ・ワナ内・前の自動撮影カメラのSDカードを交換

平成 27 (2015)  
年

2月 20日 (金)

13:20-13:50

計 2名



- ・ワナ内・前に餌補充
- ・仕分け前室の人用扉のロック用角材が緩んでいた為に修理

平成 27 (2015)  
年

2月 21日 (土)

10:00-11:00

計 2名



- ・ワナ内・前に餌補充
- ・自動撮影カメラ 3 台の SD カードを交換
- ・ゲート横人用扉を閉鎖し自動捕獲装置の再稼働 (7-10 頭の進入で捕獲する設定)

平成 27 (2015)  
年

2月 22 日 (日)

10:00-10:30

計 2 名



- ・ワナ前・内自動撮影カメラの SD カードを交換
- ・ワナ内に残っていた餌の少量をワナ外へ散布

平成 27 (2015)  
年

2月 23 日 (月)

9:00-11:00

14:45-16:00

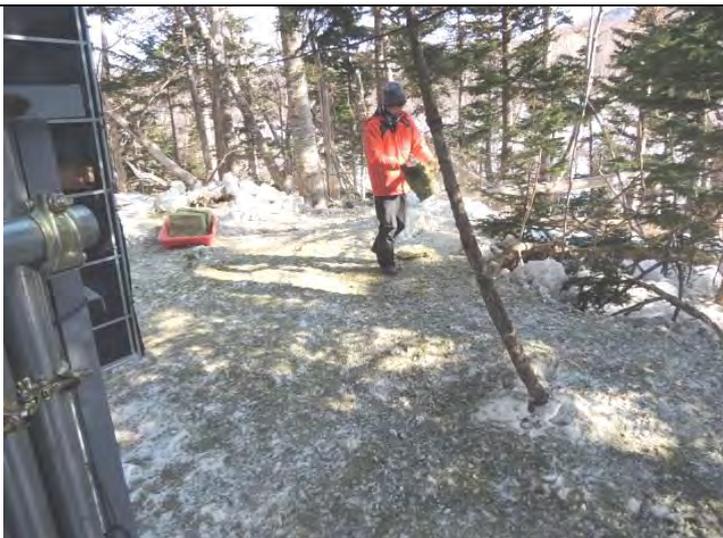
計 3-2 名



- ・2/23 に捕獲したメス成獣 1 頭、オス 4P1 頭、子 4 頭の追い込み捕獲作業・搬出運搬作業
- ・ワナ内・外に餌を補充
- ・ワナ内・外の自動撮影カメラの SD カードを交換
- ・自動捕獲装置のエラー修正、再稼働 (7-10 頭の進入で捕獲する設定)
- ・ワナ前より海側にてエゾシカ (メス 3 頭+) を目視

<p>平成 27 (2015) 年</p> <p>2月 24 日 (火)</p> <p>9:00-10:00</p> <p>計 2 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワナ前に餌を補充</li> <li>・ワナ内・前の自動撮影カメラの SD カードを交換</li> </ul>
---	---

<p>平成 27 (2015) 年</p> <p>2月 25 日 (水)</p> <p>9:00-9:50</p> <p>計 2 名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワナ前に餌の補充</li> <li>・ワナ内・前の自動撮影カメラの SD カードを交換</li> <li>・ワナ前海側にてエゾシカ (4+頭) を目視</li> </ul>
--	--

<p>平成 27 (2015) 年</p> <p>2月 26 日 (木)</p> <p>9:55-10:16</p> <p>計 3 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワナ内・前に餌の補充</li> </ul>
---	--

平成 27 (2015)  
年

2月 28日 (土)

13:30-15:00

計 4名



- ・ワナ内・前に餌を補充
- ・ワナ内外の除雪

平成 27 (2015)  
年

3月 2日 (月)

9:20-10:00

計 4名



- ・ワナ内の餌を掘り出し再設置
- ・ワナ内・前・生息確認用の自動撮影カメラのSDカードと電池交換

平成 27 (2015)  
年

3月2日(月)

11:30-11:45

計1名



- ・生息確認用の自動撮影カメラの角度の微調整
- ・生息確認用の自動撮影カメラの設定再確認

平成 27 (2015)  
年

3月4日(水)

9:00-9:50

計3名



- ・ワナ内に餌を補充
- ・ワナ内・前の自動撮影カメラのSDカード交換

平成 27 (2015)  
年

3月5日(木)

11:10-12:10

計4名



- ・ワナ内外・人用扉周辺の除雪
- ・ワナ内の餌を掘り出し、新たに餌を補充
- ・自動捕獲装置のメンテナンス

平成 27 (2015)  
年

3月6日(金)

10:30-10:50

計2名



- ・ワナ内・前に餌の補充

平成 27 (2015)  
年

3月6日(金)

13:30-15:00

計1名



・暗箱部・人用扉周辺の除雪

平成 27 (2015)  
年

3 月 9 日 (月)

13:00-14:00

計 4 名



- ・ 昨晚に捕獲したメス成獣 1 頭、子 4 頭の追い込み捕獲作業
- ・ 自動捕獲装置の設定変更 (3-5 頭の進入で捕獲する設定に変更)
- ・ ワナ内・前に餌の補充

平成 27 (2015)  
年

3 月 9 日 (月)

15:10-15:45

計 2 名



・捕獲したエゾシカ 5 頭の搬出作業

平成 27 (2015)  
年

3 月 10 日 (火)

8:40-9:10

計 3 名



・広範囲生息調査及び自動捕獲装置やワナのメンテナンスを実施

平成 27 (2015)  
年

3月 11日 (水)

10:25-11:00

計 6名



- ・ワナ内の古い餌をワナ前に移動散布
- ・ワナ内に餌の補充
- ・ワナ内・前・生息確認用の自動撮影カメラのSDカードの交換

平成 27 (2015)  
年

3月13日(金)

10:30-12:00

計 2 名



- 3/11 に捕獲したメス成獣 2 頭、子 1 頭の追い込み捕獲作業
- 自動捕獲装置のエラー修正、再稼働 (3-5 頭の進入で捕獲する設定)

平成 27 (2015)  
年

3月14日 (土)

8:45-10:10

計 3 名



- ・自動捕獲装置のセンサー部がエゾシカ衝突の影響で固定が不安定になった為に再調整。
- ・ワナ内・前に餌の補充
- ・ワナ内・前・生息確認用の自動撮影カメラのSDカードの交換

平成 27 (2015)  
年

3月15日(日)

9:40-10:05

計4名



- ・ワナ内・前・ワナ前からウトロ沢斜面に続くシカ道に餌を補充
- ・ワナ内・前・生息確認用の自動撮影カメラのSDカードの交換
- ・自動捕獲装置の確認

平成 27 (2015)  
年

3月16日(月)

10:30-11:10

計4名



- ・ワナ内・前に餌の補充
- ・自動捕獲装置のメンテナンス

平成 27 (2015)  
年

3月 17日 (火)

9:10-9:40

計 3名



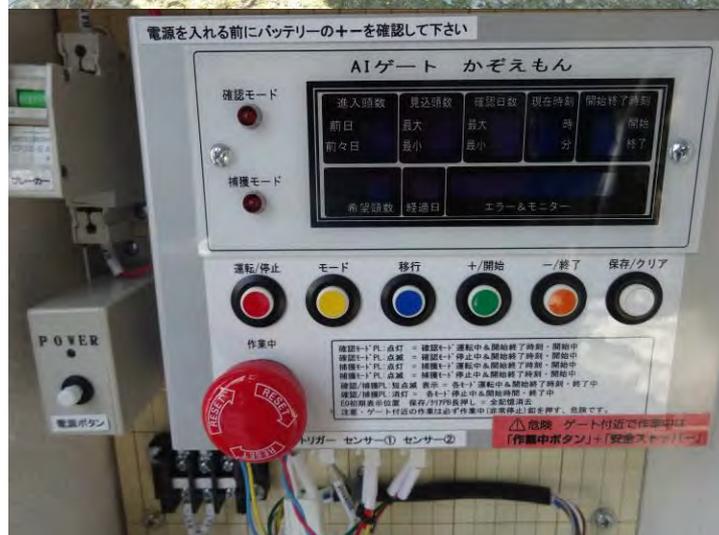
- ・ワナ内の古い餌をワナ前に移動散布
- ・ワナ内・前の自動撮影カメラのSDカードの交換

平成 27 (2015)  
年

3 月 18 日 (水)

13:00-15:00

計 3 名



- ・ 広範囲生息調査を実施  
「捕獲体制を終了。」
- ・ 自動捕獲装置の停止
- ・ 落とし扉を落下状態に変更
- ・ 仕切り部の扉の固定確認

平成 27 (2015)  
年

3 月 19 日 (木)

9:00-11:00

計 3 名



- ワナ内の餌を可能な範囲で回収
- 自動撮影カメラの回収

林野庁 北海道森林管理局 請負事業

事業名：平成 25 年度網走南部署斜里地区  
鳥獣被害対策エゾシカ捕獲事業第 1 号その 2

事業期間：平成 26 (2014) 年 12 月 16 日～平成 27 (2015) 年 3 月 20 日

事業実施者：公益財団法人 知床財団  
〒099-4356 北海道斜里郡斜里町岩宇別 531  
知床自然センター内  
TEL : 0152-24-2114

